

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H19～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	県民の豊かさ全国トップレベルを維持					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	・高単収・早期成園化が可能なりんご高密度・新しい化栽培の普及や県オリジナル品種等の生産拡大など、産地の活性化に向けた新たな取組が進みつつある。 ・気象や土壌条件に適した県産ワイン用ぶどうの評価が高まり作付面積が拡大している。
	【目指す姿】
	・りんご「シナノリップ」やぶどう「クイーンルージュ®」等の果樹戦略品種等の作付が拡大するとともに、りんごの高密度・新しい化栽培やぶどう平行整枝短梢せん定栽培等、省力化や規模拡大を図る技術が普及・定着し、安定した果樹経営が営まれている。 ・ワイン用ぶどう栽培の増加に対応する苗木の供給体制を構築し、安定供給が行われている。
	【実施内容】
	果樹戦略品種等の普及及び栽培技術向上研修会の開催、市場評価向上に向けた求評会の開催、苗木の需要安定や増産に向けた体制・基盤の整備

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		予算額	前年度繰越			
1	果樹戦略品種等の栽培面積(シナノリップ、クイーンルージュ®等)	2,191ha	2,390ha	↑	2,534ha	↑			2,501ha	達成	6,732	1,857
2	ワイン用醸造品種の栽培面積	301ha	344ha	↑	365ha	↑			350ha	達成	6,732	1,857
3											6,095	1,816
4										4,029	1,063	
										職員数(人)	1.5	1.5

成果指標設定理由	①実需者からの要望や苗木の生産計画等に基づき設定 ②現状のワイン用品種栽培希望面積と苗木供給能力から設定
----------	---

達成状況の分析	①果実の消費動向等に基づき育成された果樹戦略品目等への生産者の関心は高く、新植・改植が進んでいる。 ②県産ワイン用ぶどうの生産機運が高まり、栽培面積が増加している。
---------	---

主な取組	①果樹戦略品種の生産振興	 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓りんご「シナノリップ」の市場評価向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大田市場にて、仲卸業者等を対象とした知事によるビデオメッセージ配信PR(1回)</li> </ul> </li> <li>✓ぶどう「クイーンルージュ®」の品質検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市場での求評会を(1回)開催し、市場関係者等と品質・出荷基準を検討</li> <li>・高品質生産・出荷を促すリーフレットを作成配布(10,000部)</li> </ul> </li> </ul>	
	②ワイン用ぶどうの生産振興	 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ワイン生産アカデミーの開催(1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規参入者を対象にワイン用ぶどうの生産技術やワイナリーの起業に必要な基礎知識習得研修会を開催(受講者7名)</li> </ul> </li> <li>✓ワイン用ぶどう栽培基本技術習得研修会の開催(全4回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内でワイン用ぶどう栽培を開始した者を対象に高品質で安定した原料生産に向けた研修会を開催(受講者27名)</li> </ul> </li> <li>✓先進的なワイン用ぶどう栽培技術導入研修会の開催(全3回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「NAGANO WINE栽培情報プラットフォーム」関係者を対象に、国内外の先進的な栽培技術を習得する研修会を開催(参加者154名)</li> </ul> </li> </ul>	<p>大田市場にて知事によるシナノリップのビデオメッセージ配信PR</p> <p>県内市場にて「クイーンルージュ®」求評会</p> <p>ワイン用ぶどう栽培基本技術習得研修会</p> <p>先進的なワイン用ぶどう栽培技術導入研修会</p>

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしてい たいか	生産者の果樹戦略品種等への関心は高く、新植・改植が進んでいる。果樹戦略品種等に対する一定の市場評価はあるが、産地間での品質格差があり単収や栽培技術の平準化が課題。 安定したワイン用ぶどうの原料生産に向け、新規栽培者を中心に栽培技術の平準化を図る必要がある。	マーケットでの優位なポジションを早期に獲得するため、高品質果実の生産に向けた栽培技術の普及や生産体制の確立・拡大が必要。 新規栽培者を中心に基本技術習得研修会を開催し、栽培技術の習得と高品質なワイン用ぶどうの生産を推進していく。

事業番号 09 04 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	果実計画生産出荷促進資金造成事業	2,443 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	-		-

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	りんご緊急需給調整特別対策事業	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	-		-

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	ワイン用ぶどう生産者レベルアップ事業 (R1:ワイン生産アカデミー事業)	330 千円	367 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	ワイン用ぶどう生産者レベルアップ事業	直接	「信州ワインバレー構想」に基づき、県内でワイン用ぶどう栽培やワイナリー起業を希望する意欲ある新規参入者の掘り起こしと、ワイナリー起業に必要な基礎的な知識・技術の習得及び起業意欲醸成を目的に「ワイン生産アカデミー」を1回開催（7名受講）。また、県内でワイン用ぶどう栽培を開始したばかりの初心者を対象に、高品質で安定した原料生産に向けたワイン用ぶどう栽培基本技術習得研修会を4回開催（27名受講）。「NAGANO WINE栽培情報プラットフォーム」関係者を対象に、先進的な栽培技術導入検討会を3回開催（参加者154名）。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	高密度植・新しい化栽培専用苗木増産支援事業	981 千円	448 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	りんごフェザー苗木増産支援事業	補助金	りんごフェザー苗木の増産に必要な専用台木（M9ナガノ）の母株養成ほ場の整備・管理を支援した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
5	信州新果実市場評価向上事業	275 千円	248 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	「シナノリップ」のPR	直接	東京 大田市場にて知事によるビデオメッセージ配信を通じてシナノリップのPRを行い、卸・仲卸業者への認知度向上に取り組んだ。適期収穫研修会の開催（1回）等により、生産者の生産・出荷技術向上に取り組んだ。
2	「クイーンルージュ®」の求評、適性出荷促進リーフレットの作成	直接	県内市場にて「クイーンルージュ®」の求評会（1回）を実施し、品質基準を検討。生産者向けの適正生産出荷を促進するためのリーフレットを作成し（10,000部）、配布。